

平成23年5月26日

## 平成22年度土木学会賞の受賞報告について

土木学会賞は、(社)土木学会が土木工学または土木事業に関して、著しい貢献をしたものに対して授与される非常に名誉ある賞であり、80余年の伝統に基づく権威ある表彰制度です。

このたび、NEXCO東日本グループは、この土木学会賞の各賞のうち、5件において受賞することになりましたので、ご報告いたします。

賞	件名	受賞者
技術賞	道東自動車道 夕張～占冠間建設事業～蛇紋岩帯を貫く長大トンネル群の施工～	北海道支社 千歳(工) 他18社
環境賞	橋梁ジョイント部における突発騒音吸収装置の開発	本社 技術本部 環境部 環境技術課 他1社
田中賞 (論文部門)	合成桁の曲げ、せん断相関強度解明に関する実験的研究	関東支社 さいたま(工) 本間淳史 他5名
論文賞	2重合成桁の曲げ及びせん断強度の評価方法に関する実験的研究	関東支社 さいたま(工) 本間淳史 他5名
技術開発賞	トンネル覆工専用中流動コンクリートの技術開発	NEXCO総研 トンネル研究室 中野清人 他3名

土木学会ホームページ([http://www.jsce.or.jp/prize/prize\\_list/p2010.shtml](http://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/p2010.shtml))

### (参考) 授賞式

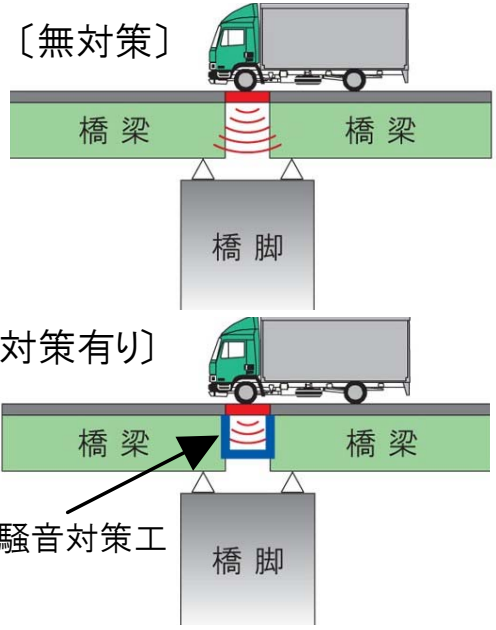
平成23年5月27日(金) (社)土木学会 平成23年度定時総会 にて

- 技術賞： 土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクトに授与
- 環境賞： 環境への負荷を低減する土木技術・システムを開発・運用し、良好な環境の保全・創造に貢献した画期的な業績およびプロジェクトに授与
- 田中賞(論文部門)： 土木学会刊行物に発表された論文、報告の中で、計画、設計、製作・施工、維持管理、考案、歴史などに関連して橋梁工学の発展に大きく貢献したと認められた論文に授与
- 論文賞： 独創的な業績を挙げ、これが土木工学における学術・技術の進歩、発展に顕著な貢献をなしたと認められる論文の著者に授与
- 技術開発賞： 計画、設計、施工、または維持管理等において、創意工夫に富むと認められる技術(情報技術、マネジメント技術を含む)を開発、実用化し、土木技術の発展を通じて、社会に貢献したと認められる者に授与

**技術賞** 道東自動車道 夕張～占冠間建設事業 ～蛇紋岩帯を貫く長大トンネル群の施工～



**環境賞** 橋梁ジョイント部における突発騒音吸収装置の開発



**技術開発賞** トンネル覆工専用中流動コンクリートの技術開発

